

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
キャリア形成概論	NLA11_014	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 美智	413	michi.tsutsumi	木曜日 12:00～12:50		
授業の目的・概要	現代の社会において大学卒業後に求められるのは、単に「職業」に就くということではなく、職業を通じてどのような豊かな人生を創造し、実現するかである。社会で求められる人物像や職業についての理解を深めながら、将来のキャリア形成のために必要な社会人基礎力を養い、自分自身のキャリアはどうあるべきかを自ら考える基盤を養う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	大学4年間の学びの先にあるキャリアプランを考える。教室での学びだけではなく、教室外での経験を通して、自分と社会とのつながりを意識するように心がける。				
教科書	必要に応じ講義中に紹介する				
参考書	必要に応じ講義中に紹介する。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	大学での生活や学びがどのようなものか理解でき、実践できる。		HSU(2)、(5)、(6)		
②	文章構成の基本を学び、レポートの作成ができる。		HSU(5)、(6)		
③	他者に興味をもち、コミュニケーションが図れる。		HSU(1)、(4)、(5)		
④	自分の意見を正確に伝える話し方を学び、実践できる。		HSU(5)		
⑤	他者と協力し合い、意見を集約することができる。		HSU(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス；キャリアについて	講義	指定の教科書とシラバスを見ておく。	2	
2	自己分析を行う	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
3	他己分析を行う	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
4	職業研究：就職したいと思う企業・病院の情報を調べる	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
5	20歳代後半から60歳代までのキャリアを考える	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
6	看護専門職としての将来設計を考え、看護師の働き方を調べる	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
7	看護専門職としての将来設計を考え、看護師の働き方を調べる	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	4	
8	履歴書を作成する	講義	授業の復習として、配布資料を見直しファイリングを行う。	4	
試					

【教養科目領域/基盤科目群】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	20	50	100	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	5	0	15	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	レポート：課題を与える。 評価：課題に沿った内容についてのレポートがみられること。					レポート評価・添削
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	配布された資料を整理し提出することで、授業資料の整理が効果的に行われていたかを確認・評価する。					ファイル評価・添削
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	出席は当然のことであるが、授業に臨む姿勢として、貢献度（発言・態度）により加算する。					評価・添削
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を10年以上有したものであり、専門地域調査士の資格を持つ。							
実践的授業の内容	コミュニケーションの取り方や発表の仕方など、アクティブラーニングを取り入れた授業を行う。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。							
その他	授業では毎回ノートパソコンを使用するので、必ず持参すること。教室では電源がほとんど取れないので、十分に充電しておいていただきたい。							